

平成 28 年度 第 1 回豊橋市男女共同参画審議会 議事録

日 時	平成 28 年 6 月 30 日 (木) 午後 1 時 30 分～3 時 10 分
場 所	豊橋市役所 西館 4 階 災害対策本部室東側
出席者	別紙のとおり
欠席者	なし
傍聴者	なし

(進行：荒木会長)

1 開会

会 長 本日は半数以上の委員が出席しているので、会議は成立している。今回の議事録の署名については、安藤委員と伊藤委員にお願いしたい。

2 議題

(1) 平成 27 年度事業実施報告について

※資料に基づき事務局が説明

委 員 昨年度実施した各種の講座の中で、定員割れの講座はいくつかあるが、今後の開催に向けて、どのように考えているか。また、小学校向け出前講座は 1 校のみの実施だったので、少なく感じるが、前年はどうだったのか。

事務局 各種セミナーについては、平成 28 年度も豊橋市男女共同参画行動計画「とよはしハーモニープラン」に沿った内容で開催していく予定。昨年度に定員割れした講座の内容も見直しつつ、より市民のニーズに合った、魅力的な講座を考えていきたい。小学校向け出前講座は、毎年学校教育課を通して募集をしている。平成 27 年度も 1 校の実施だった。

委 員 現在、学校側も様々な団体から依頼がある中、時間をとることはなかなか難しい現実だが、新しい知恵やアイデアを出し合って、今後も対策を考えていただきたい。

委 員 昨年度、実施した DV 相談の中で、一時保護したのは何件なのか。また高校生、大学生向けの出前講座はどのように学校側と調整をしているのか。

事務局 昨年度に実施した DV 相談の中で、一時保護した案件はない。高校生・大学生向けの出前講座については、毎年直接学校側に依頼し、実施に向けて働きかけている。

委 員 各種事業開催後に実施するアンケート結果に基づいて、事務局の分析も掲載していただきたい。また、他の市町村等では、「男女共同参画」分野は「企画部」に所属していることが多い。なぜなら、市の政策や方針等には、必ず「男女共同参画の視点」が盛り込まれている。まちづくりにおいても、女性の視点をいれなければいけない。すべての政策に「男女共同参画」の関わりが必然となるため、「企画部」の方がよいと 感じている。

委 員 男女共同参画の視点は様々な政策や活動に含まれており、傍観者ではなく、積極的に庁内の各種政策等にも参加しなければならない。庁内の女性登用率など、数値として一番浸透率は分かりやすいが、現状では、男女共同参画の推進にはまだまだ時間がかかると感じている。

(2) 平成28年度事業計画について

※資料に基づき事務局が説明

委員 高校生・大学生向け出前講座は、前年度より学校側に依頼し、市内すべての高校向けに何か年をかけて順番に開催できる体制になる努力をしていただきたい。

委員 昨年度の各種講座の内容を見ても、「男女共同参画の基礎」を学ぶセミナーがない。参加者数も気にしなければいけないが、「基礎知識を学ぶ、原点に戻る」講座があってもいいと思う。定員割れしても、受講した一人でも男女共同参画について考えるきっかけになればいいと思う。

委員 各種イベントや講座への参加について、様々なところに声掛けをしていただきたい。横のつながりを作りやすい環境を作り、また男女共生フェスティバルなど、若年層がもっと参加しやすい取組みをみんなで考えていきたい。

委員 親子で参加できる講座もあれば参加したいと思うので、今後の企画する中で参考にしていきたい。

委員 企業向け出前講座は平成28年度より新しく実施する事業なのか。

事務局 毎年実施している事業であるが、申込みが少ないのが現状。広報の仕方やPRの方法も試行錯誤に行っているが、まだまだ努力が必要と感じている。

委員 社会が「男女共同参画の必要性」に対する意識の低さを非常に感じ、今後の事業計画を組み立てるときに、それを踏まえた事業計画を考えていただきたい。

委員 企業向け出前講座の申込みが少ない現状などから、社会全体の意識の低さを感じる。出前講座を実施したことにより社会全体を盛りあがるような啓発グッズを配布するなどの工夫が必要。また、各種講座の参加者もリピーターが多いため、もっと新たな参加者が増えるような事業計画を考えていただきたい。

委員 企業向けパンフレットを6,500部作成する予定だと思うが、出前講座のチラシ等も添付すると知ってもらえるきっかけになるので、参考にしていきたい。

(3) 男女共同参画に関する市民意識調査について

※資料に基づき事務局が説明

委員 女性活躍推進法に基づいて、今後女性のさらなる活躍へ期待もあるが、女性は家事、育児、介護に加え、これ以上の働きは現実的にどうなのか。忙しさが子どもへの影響にも出てしまう心配がある。以上の点も考慮した行動計画を策定していただきたい。

委員 性的少数者について、今現在豊橋市において、様々な場面で大きな問題になっているのか。そうでなければ、男女共同参画を進めている真最中に、今すぐ取り組まないといけないのか。

事務局 ここ最近、メディア等でも大きく話題として取り上げられており、豊橋市内の現状は把握できていない。精神面に影響を受けることが多く、表面に現れた時は深刻の状況にな

っていることが予想される。市として、どのように考え取り組んでいくかを行動計画の中に位置づけしていきたいと考えている。

委員 男女共同参画の視点では、働くことや社会への参画などについて、性的少数者への特別配慮は必要ないという考え方もあると思う。将来的に明記しないという考え方に持っていく必要もあるし、明記することが逆に差別につながることもあるため、慎重にこの問題を取り扱わなければいけない。

委員 共働きの場合は、子どもへの教育が疎かになる心配がある。家のことや家族のことがどのようになるのか。社会や企業がより配慮した環境づくりをしてあげる必要があるし、柔軟な働き方ができるよう働きかけも今後の課題と感じている。

〈まとめ〉

会長 それでは、事務局は委員の皆さんのご意見などを今後の参考にしていただきたい。

閉会

平成28年 8月25日

議事録署名者

安藤 春樹

伊藤 友之

